職工赤化前野邸を襲ひ
狂暴警官團を突擊
双方負傷數十名を出す
騷擾を豫期せる如く職工兇器を用意す
首魁者三十數名檢擧さる

6.20 大阪

夫と見た警官隊も最早や正當防衛の格で懸命の力を振ひ相應じ縱横に衝撞し揉み合ひ押し合ひ十數名は長堀河へ轉げ込み水煙を揚げる何しろ職工團は多數を頼んで警官隊を突破し前野氏邸前に群がり小石や瓦などを掴みては盛に投げつけ同邸及近所の戸障子を見る影もなく破壞したので同邸では急を電話で所轄署に報じたが此時前後して各署より約千名の應援隊が駈附け本部よりは大木監察官加々美特高課長等自動車を飛ばし急行し警官を指揮し暴れ狂ふ職工を片ッ端より逮捕せんと力闘したが職工團中には豫て用意したものと見ゑ懷中より先端を鎗の如く尖らした棒切れ或は鐵棒などを取り出し縱横無盡に叩き附け突きを驅逐し盡くし分工場の職工負傷する者もありて警官中には負傷する者が簇出し剩ゑ大木監察官の乘つて來た自動車運轉手市原和三郎は會旗の旗竿の先に裝置せる鋭利槍の如きもので脇腹を突破られたので警官隊も一時拔劍して大亂戰を演じ叩き伏せ撲り据ゑては自動車に押込みて新町署に送ると之を取返さんとして騷ぎは輪に輪をかけて大きくなつたが遂に警官隊は職工團を驅逐し盡くし分工場の職工負傷者茂吉(三一)同山口平次(二七)樋口藤助(二三)古谷太郎(二五)黑木百三外二十數名を檢擧したが警官側では川口署長左腕に打撲傷を負ひ新町署巡査落合貞次郎(三一)は後頭部をナイフで斬り附けられ同署高橋直氏は膝關節に打撲傷を其他十二名の負傷者を出し職工側にも三十七名の負傷者を出した緒方病院よりは二名の醫員出張刑事室で負傷者に加療し留置場は假病室と變じ大騷ぎをなしたが巡査の白服は泥と血を以て彩られ一時は戰場の如き光景を演出した

目醒しい發展
日本一の大雜誌！

「現代」七月特大號は社會各方面の有益にして興味多き記事滿載！尚運動界演藝界人氣投票の發表

全大阪勞働者大會
神戸でも開催

6.21 大阪

(十一)午後六時から天王寺公會堂で開かれる全大阪勞働者大會には目下爭議中の藤永田、住友、相澤其他の各團體參加入場すべく篇上は賀川豐彦、友愛會本部理事松岡駒吉、大阪支部主事代理木村錠吉の諸氏で聽衆には入場料を徴收する外軍資金調達のため會場入口には二組の日用品行商店をも出す筈だと尚ほ神戸においても午後六時より勸業館で全神戸勞働者大會を開き東西呼應して氣勢を上げる筈だと

職工は既定の行動
暴動として起訴
大木監察官言明
證據品も押收してある

6.20 大阪

大木監察官は當夜の事變に就て語る

今夜は警察側では何等壓迫的手段を採らず全然傍觀の態度に出てゐたのである然るに職工側は理不盡にも棍棒や竹鎗を携ゑ警官に向ひ對抗して來たので已むを得ず血を見るの不祥事を演ずるに至つた這は職工側では既定の行動で暴動である犯人も檢擧し證據品も押收してあるから暴動罪として起訴する云々」と石塚新町署々長も共に口を合せた

前野氏夫人
負傷しながら
襲擊の模樣を詳しく語る

襲擊を受けた前野芳造氏の夫人政子は語る

「主人は丁度藤永田の方へ出掛けて居まして不在でしたので宅には妾と神戸高商へ通ふて居る悴の不二夫と下女三人下男一人とが居ました慥か七時半頃大きな聲で多人數の職工が宅の前を通りました、それから凡そ二三十分程經つて復その人達が宅の前へやつて來まして盛んに石を家の中へ投げ込み危險で仕樣がありませんので私等は皆二階へ避難して居ましたが硝子窓など大分毀されました其の中に警戒して居て下さいました警官隊と職工との大格闘が始まつて大騷ぎになりましたが凡そ二三十分間も經過すると其の騷ぎも靜まりましたが一時はどうなる事かと非常に心配しました私も石が一つ中つて負傷しました双方共負傷者が大分あつた樣で初めは宅へ身ぎ込まれましたがそれから附近の醫者の家へ運んで行きました」云々

大阪
三越呉服店
◈廿二日より廿八日まで◈
黑田新氏
大阪名所洋畫展覽會
夏座敷用品陳列會
各地團扇陳列會
諸國陶器陳列會
目下開催中

大阪と神戸で
勞働大會
入場料は罷業團へ

6.21 大阪

廿日午後七時から大阪市南區堂島公會堂に開かれた全大阪勞働者大會は定刻前鎗詰めの滿員となり場外にも人垣を作つた木村友愛會主事代理賀川豐彦、住友電線の實行委員其他交々起つて資本家横暴を責め十時過無事散解した一方神戸でも同日午後七時湊川勸業館に開催各勞働者各團體交々熱辯を振ひ同十時半散解したが此日の入場料及諸方面より集まつた寄附金二百餘圓は藤永田罷工團に寄贈された(二十日、大阪發)

山陽の詩一万圓
萩野博士の賣立て

萩野博士が國史研鑽と佐渡史料發表の資に愛藏の書畫尺牘全部を廿日美術倶樂部に賣立てた豫想外の好況で滿鐵前重役佃一誠氏の道具を併せて總額八万七千餘圓で萩野博士のものでは殊愛の山陽芳野懷古詩は最高値の一万八百九十圓で尺牘僅觀三卷千九百七十六圓を始め尺牘書翰だけでも二万圓近くあつた

職工結束堅し
休業中の住友電線
軟化者の喰止

休業中の住友電線製造所の職工は廿日の朝から四貫島小學校横手廣場に事務所を設け「飽迄實行委員を信認し今後絶對に單獨の行爲を執らず」との決議をした一方實行委員は四貫島の賀川方へ集まり凝議の結果卅名の委員を擧げ職工中軟化の虞ある者の家庭を訪問する事を申合せた(廿日、大阪發)

卷添を喰つて
三名檢束さる

藤永田罷業團の騷擾事件に關し三

協調會の添田博士